令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉区民センター
施設所管課・担当	住吉区役所総務課（担当：向井、中塚）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	1. 貸館運営業務 2. 徴収事務委託契約に基づく収納事務 3. 施設総合管理業務
成果指標	施設利用率、利用者満足度
数値目標	12,000人以上、80%以上
指定管理者名	大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	施設利用率	利用者満足度
数値目標	72.95%	86.50%
年度実績	62.55%	98.5%
達成率	85.7%	113.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	171,016	158,166	12,850
稼働率	62.6%	60.6%	2.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	36,938,562	35,742,972	5,357,562	光熱費の高騰に対し、協定書に基づき費用補填をおこなったため。
	計画	31,581,000	31,581,000		
利用料金収入	実績	21,324,470	20,414,290	1,655,470	室料金の直前割引やSNS等での営業活動を行ったことにより、利用者が増加したため。
	計画	19,669,000	19,589,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	9,445,610	15,331,640	900,610	自主事業のコマ数増加等により自主事業収入が増加したため。
	計画	8,545,000	13,051,000		
合計	実績	67,708,642	71,488,902	7,913,642	※舞台人件費をその他収入に含まなくなったため、前年度と差異あり。
	計画	59,795,000	64,221,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	26,943,316	25,856,093	1,621,150	最低賃金の増加等。
	計画	25,322,166	24,997,293		
物件費	実績	32,104,251	29,305,172	6,296,697	エネルギーコスト高騰に伴う光熱費の増加。
	計画	25,807,554	26,027,930		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	7,820,651	15,353,754	427,371	自主事業参加者の増加に伴う増。 【当年度実績内訳】 目的事業：55,575円 自主事業：4,285,096円 その他：3,479,980円
	計画	7,393,280	13,760,267		
合計	実績	66,868,218	70,515,019	8,345,218	※舞台人件費をその他事業費に含まなくなったため、前年度と差異あり。
	計画	58,523,000	64,785,490		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
施設利用率	85.7%	C	数値目標を達成することはできなかったが、自主事業のコマ数を増やすことや、SNS等を通じて新規顧客獲得に向けた施策を適切に実施したことは評価できる。 また、利用率が低い小ホールやスタジオ等の部屋限定で、室料金の直前割を実施する等、施設の利用率向上を図ろうとしている。
利用者満足度	113.9%	A	スタッフの新規採用時や決まった時期での接遇研修等により、職員の資質向上に努めており、高い利用者満足度を果たしたことは評価できる。

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費縮減にかかる取り組みを実施していた。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	法令・規則にのっとり適切に管理運営が行われた。
事業計画の実施状況	B	事業計画書等に基づき適切に実施されていた。 その他寄せられる要望等についても、迅速に対応しており、細やかな配慮がみられる。
施設の有効利用	B	ボランティアセンターと共同で交流スペースを運営し、区内の市民活動、ボランティア活動のハブとして機能した。 また、区内の中学生を職場体験として受け入れる等、施設の設置目的達成に向けて努めていた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	法令等に基づき、標準通り事務が進められていた。

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者に対して年2回のアンケート調査を実施（総回答者数 215名） 「施設設備」「スタッフの対応」「清掃状況」「総合満足度」等の項目で調査を行い、総合的な満足度では98.7%の利用者から満足との回答が得られた。 また、「小ホールの客席が暗い」・「施設利用時の廊下の話し声がうるさい」といった利用者からの意見・要望等に対し、照明器具の交換や巡回回数を増やす等により適切に対応していた。

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> 満足度の目標達成をしており、利用者に丁寧にサービスを提供していることがうかがえる。 課題の認識もしており、特別室の料金設計による利用促進などの取組をしていることは評価できる。 単年だけでなく、利用率向上に向け、認知度を向上させる為に、長期的視野での取組の検討を望む。 アンケートなど丁寧にしている点は評価できるが、利用者分析を深めるなど具体的展開につなげて欲しい。 （多様な意向・ニーズの発掘も含めて、紙のアンケートだけではなく様々な手法で行う等の検討をして欲しい。）

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B+	施設利用率については成果指標を達成することは出来なかったが、委員意見にもあるように課題を認識し様々な取組を行っている点や、高い利用者満足度を得ていることは評価できる。
市費の縮減	B	昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費縮減にかかる取り組みを実施していた。
管理運営の履行状況	B	法令・規則にのっとり適切に運営が行われていた。 また、各評価項目において適正な管理運営がなされており、施設の有効利用等についても適宜改善を講じていた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	上記により、令和6年度については、おおむね本市の定める水準どおり効果が得られたと考える。